

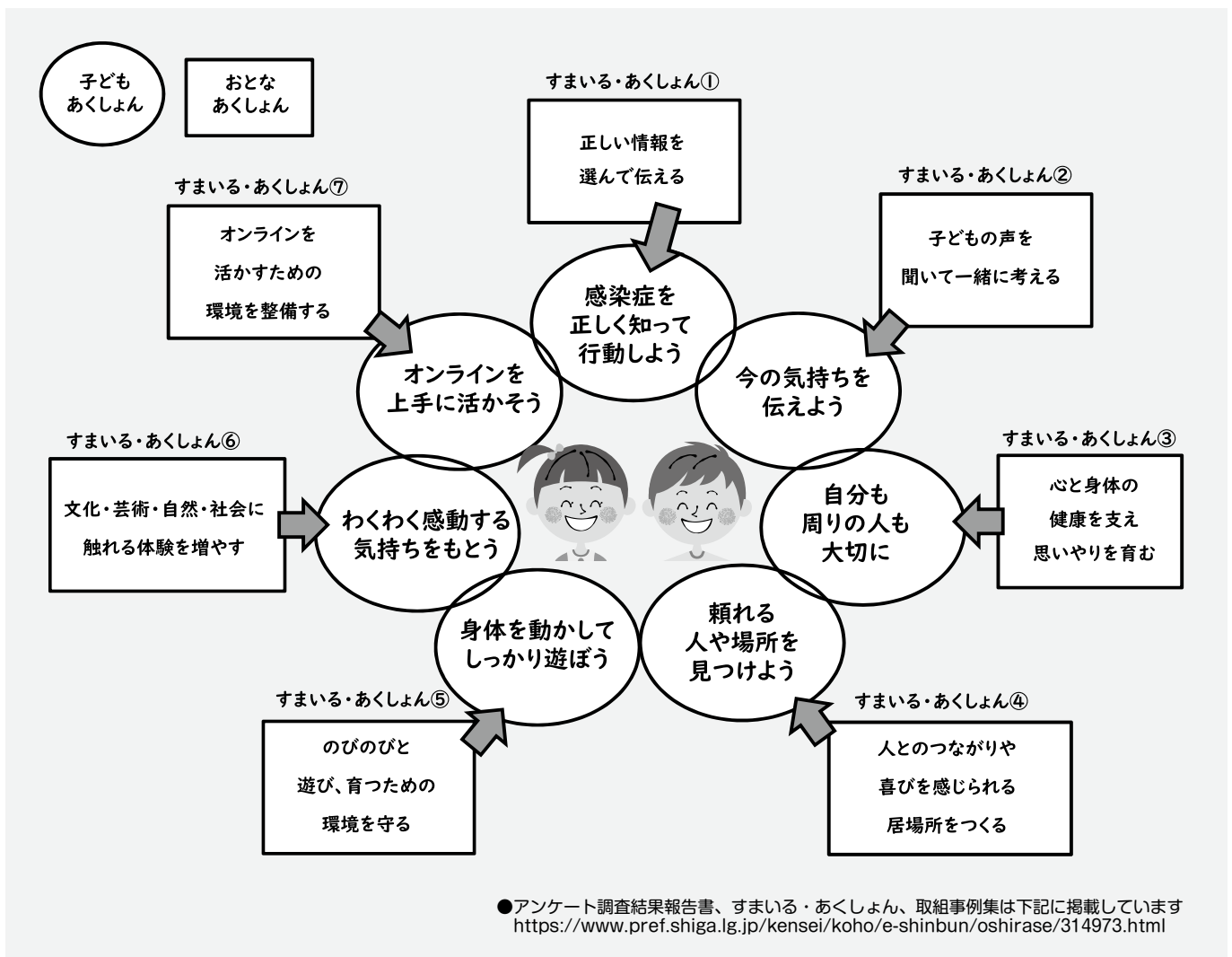


すまいる・あくしょん

滋賀県では、子ども達が新型コロナウイルス感染症を正しく理解し、生きいきと過ごせるように、「すまいる・あくしょん」を策定しました。

「すまいる・あくしょん」とは、コロナ禍の子どもの声から生まれた子どもの笑顔を増やすために、皆が取り組める行動や方法、条件などを示すものです。「すまいる・あくしょん」には、『子どもが自分自身のために行動できること』『子どもが必要としていることに対して大人が行動すること』という2つの視点から、7つの行動指標（あくしょん）があります。

年齢やおかれている環境によって取組は変わります。皆でできることを考えて、一人ひとりが行動にうつしましょう。



●アンケート調査結果報告書、すまいる・あくしょん、取組事例集は下記に掲載しています
<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/koho/e-shinbun/oshirase/314973.html>

ひのっこだより

町内の幼稚園や保育所・こども園、小・中学校での子ども達の様子や、特色ある取組を紹介します。



必佐小学校

【学校教育目標】「カいっぱい やさしさいっぱい
めあてしっかり コツコツと」



全校児童311名、毎日、必佐見守り応援隊の皆さんの温かなあいさつに迎えられ、元気いっぱいに学習しています。本校では、「わかった」「できた」を実感できる授業づくり、優しさあふれる心の教育の充実、健康・体力の向上と粘り強い態度の育成をめざし、日々の教育活動に取り組んでいます。

しっかりと自分の考えをもち 学び合おう

昨年度から滋賀県教育委員会の研究指定を受け、子ども達の学ぶ力向上の取組を進めています。今年度は、特に一人ひとりが自分の考えを持った上で、お互いの考えを交流し合うことで、学びを深めていくことに力を入れています。



やさしい心で自分や友だちを 大事にしよう



全校児童が安心して友だちと仲良く過ごすために、自分達の生活を見つめ直す時間を大事にしています。毎月1回の「必佐小人権の日」では、掃除やあいさつ、学校での約束など、月ごとに重点目標を決めて取り組み、振り返りをしています。

健康・体力向上をめざし 粘り強く取り組もう

仲良く広場に子ども達が楽しんで遊びながら運動に親しめる環境を作ろうと、カラーペンキでさまざまなラインを引きました。休み時間には、ケンパや反復横跳び、ラダートレーニング、縄跳びなどをして遊ぶ子ども達がいっぱいです。

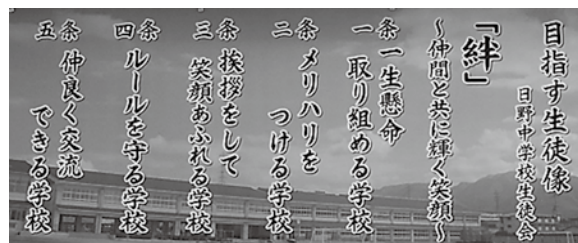


日野中学校

【学校教育目標】「創造力豊かで、たくましい生徒の育成」
【校訓】「進取」

生徒数501名の日野中学校では、「目指す生徒像」のもと、「日野中学校に関わる全ての人(生徒・保護者・地域の人、教職員)が誇りを持てる学校づくり」に取り組んでいます。

このコロナ禍でいつもと違う学校(授業・行事など)ですが、感染予防も含め、皆が何事にも一生懸命取り組んでいます。部活動も熱心に取り組む、その中でも特筆



すべきは、「合唱の町 日野町」の象徴的存在である音楽部の活動です。今年は、コンクールなどがことごとく中止となり、練習自体もままならない状況の中、10月に第44回定期演奏会を実施しました。わたむきホール虹の大ホールに町長を含め、250人以上の方に来場いただき、すばらしい時間を過ごすことができました。

そのほか、日々の学校の様子をホームページ内の「日野中ダイアリー」に掲載しています。



HP